



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

# 京都部部報

第2号 / 2018.02発行  
2017-2018年度 BULLETIN

京都部部長主題	All Hands on Deck !	京都部部長	竹園 憲二	京都ZERO
西日本区理事主題	2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」 Healthy mind & healthy body make healthy club	西日本区理事	大野 勉	神戸ポート
国際会長	主題 “Friendship across the borders” 「国境なき友情」 スローガン “Let us walk in the Light - together.” 「ともに、光の中を歩こう」	国際会長	Henry Grindheim	ノルウェー
アジア地域会長	主題 “Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」 スローガン “Solidify the Y's Men Family for Better World” 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」	アジア会長	Tung Ming Hsiao	台湾

## 部長主題 “All Hands on Deck ! ”



第22代京都部部長  
竹園 憲二 (京都ZEROクラブ)

上半期を終えて7月スタート時を振り返りますと、部長主題でも掲げておりましたAll Hands on Deck ! クラブの垣根を越えた交流を持ってワイズ活動ができればと思っていました。その思いを持って京都部部会とワイズデーに重点を置いていました。ワイズメンズクラブメンバーとして皆さんに関わっていただきたいと思っていましたので、京都部部会に関しても京都開催の部会なので京都のメンバーさんに少しでも多くの参加をして頂きたいとの思いでした。その思い以上に378名(内7割を越える在京メンバー)の参加をいただきました。京都部以外のメンバーさんにもご参加をいただき総勢450名の参加をいただきました。ありがとうございます。部会登録では早期登録で皆さんにご迷惑をおかけしましたが、御自分のお近くに住んでおられるワイズメンをテーブルごとにグループとして、地域分けの配席を取らして頂きたいという思いからのお願いでした。そして、地域の仲間として、DIG(災害国上演習)を通じて防災について話し合いを持っていただきました。部会に参加して下さったワイズメンの皆さんが、テーブル配席を仲間とし色々意見の出し合いをして下さいました。この部会が良かったと評価をいただいたのも皆さんが前向きで、何に対しても取り組んで頂ける方々の集まりであった事が良い部会になってくださったと思います。二つ目に、ワイズデー(ワイズメンズクラブを世に広く知っていたく日)に多くの人にアピール出来ないかと今期の京都部役員並びに各クラブの会長様と話し合いを持ち、京都

部520名老若男女参加ができ、マンパワーで楽しく参加できワイズメンズクラブの広報ができればと思っていました。また、この活動の中で熊本震災復興を支援できないかと画題してきました。ワイズデー10月14日の午前中は熊本震災復興支援募金活動を行い、午後からは、J2サッカーチームの観戦、ハーフタイムではワイズメンズクラブ広報の為257名でのグランド行進ができました。また、九州部から震災に直面した子供達も一緒に行進をしてくださいました。子供達からいただいた手紙に、自分達が知らないところで熊本の為に活動して下さっている事に感謝ですと書いてありました。人とは、お互いが相手の気持ちになって考え行動できれば勇気ももらったり、与えたりできることを再確認できました。

一つの目標を皆んなでする事は大変難しいです。今回ワイズデーでどうしても参加出来ないメンバーはチケット購入だけでも購入して下さったメンバー、当日募金活動、サッカー観戦に参加して下さったメンバー、九州部からチケット購入、サッカー観戦に参加して下さったメンバーの皆さん本当にご苦労様でした。

チケット販売では大人417枚、子ども76枚、車イス1枚、合計494枚の購入をいただきました。チケットによる支援金¥298,400円、街頭募金¥66,173円を合わせて¥364,573円をYMCAを通じまして熊本YMCAに送金していただきました。ありがとうございました。

ワイズメンズクラブでしかできない、クラブを超えた事業を仲間としてこれからも広く進めて行きたいと思っております。

# 部役員

## 次期部長 川上 孝司 京都バレスワイズメンズクラブ

22期京都部活動も下半期に入りました。京都部会、ワイズデーにおきましては竹園部長の包容力と優しさを持ったイベント、事業であったと思います。部の役割は各クラブの事業をいかにサポートするかが最大のポイントのように思います。もし部が事業をしようとした時その事業が各クラブの要求される物ではなくてはなりません。ワイズデーの事業とはその事業がみんなにとって良かったかどうか、また対外的にどうアピール出来たかという事が大変重要のように思います。そういう意味で素晴らしい上半期であったように思います。私自身、次期京都部部長として各クラブに対しどのようにサポート出来るかを考える毎日であります。今後体調を整え上半期にご迷惑をおかけした分、全力を尽くし竹園部長をサポートしていく所存です。



## 直前部長 廣井 武司 京都プリンスワイズメンズクラブ

今期も上半期が無事過ぎました。竹園部長を中心に日々ワイズダム発展のためにご尽力をいただいている部役員の皆様に感謝いたします。そして何よりクラブの明日のためにご奉仕をされている各クラブの会長、役員の皆様にご敬意を表します。部長職を離れて今の立場になって京都19クラブの動きが自分の所属しているクラブ以外ほとんどわからなくなりました。他クラブのブリエンを日にすることも、ほとんどありません。いま現在は部の役員会に出席の義務があるのでかろうじて情報を得ることが出来ますが、次期監事の役目が過ぎれば自クラブに閉じこもる「井の中の蛙」状態になるのでしょうか。下半期もいろいろ事業がありますが、積極的に参加して他クラブの方とも交流を深めてゆきましょう。交流の幅を広げることはあなたの財産です。次期への引き継ぎもすくによってきます。確実に、丁寧にその準備もおねがいします。



## 監事 高田 敏尚 京都ワイズメンズクラブ

京都部の役員会は定例で毎月第1金曜日に開かれています。ここに、部長は西日本区からの情報、各主査は京都部での各クラブの事業などの情報を持ちります。この前の役員会で、このような報告がありました。リトセンで私たちがオータムフェスタなんかの時に使っているお皿を洗うワークをしてきているクラブがあるということです。ふだんは川の水を汚さないように環境のことを考えて、環境にやさしい洗剤を使っているの、お皿を徹底的にきれいにするというのです。びっくりしました。何気なく、いつも使っていたものですから、そんなご奉仕を支えられているのかと改めて認識しました。このような日に見えないところで、YMCAの活動は支えられているんですね。そして、そのワークにYサ主査が参加したということです。また、こんな報告もありました。クラブの例会にリーダーOBが参加し、入会候補者として紹介されたということです。どのクラブも若いメンバーの獲得には苦労しています。プールで、街頭募金で、会館のなかで、そして最後は卒業式でワイズがリーダーと接する機会も多いはずですが。ワイズの活動を身近にみて、いざばん理解している若者はリーダーではないでしょうか。リーダーが入会候補者となる。ここにワイズの活動の継承があると思います。ワイズの活動は、自分が楽しみながら、他者への奉仕もいとわれないのです。そして、これを継承させていくことの大切さ、ワイズの役員会では、さまざまなことを教えられます。あと半期、このような役員会に出席させてもらいます。



## 統括連絡主事 藤尾 実 京都YMCA

7月に始まったワイズメンズクラブ京都部竹園部長も半年が過ぎ、さまざまな形でYMCAにご支援、ご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。中でも10月におこなわれたワイズデーでは、熊本YMCAサッカーチームを招待いただき、子どもたちは今回の遠征を通して、自分たちは熊本地帯を乗り越えたこと、全国に多くの方々から応援してくれていることを感じ、大きな自信を持つ機会になりました。

京都YMCAは創立130年に向け、2つの新しい取り組みのチャレンジを進めています。4月からの「京都YMCA三条保育園開設」、全国YMCAで取り組みを進めている「YMCAブランディングの推進」です。「YMCA三条保育園」はキリスト教精神に基づき、子どもたち一人ひとりの、やさしい心と豊かな知性と健やかな体の調和を図り、自分と他者を大切に、豊かで平和な社会を創う心を育てることをめざしています。「ブランディング推進」で、私たちYMCAは「「したい何かが見つかり、誰かとながる。私ができる、かけがえない場所。」を提供し、希望のあるより豊かな社会を創っていくことを目標に活動をすすめる、そのことを効果的に伝えることによって、より多くの方から共感、支援、賛同を得ることをめざしています。これらの新しいチャレンジには、ワイズメンズクラブのみならずとの前層の協働が必要になってまいります。残り半期もどうぞよろしくお願いたします。



# 部役員

## 書記 中村 隆司 京都ウェルワイズメンズクラブ

ワイズメンの皆様、いつもお世話になっております。お陰様で無事に上半期を終える事が出来、感謝申し上げます。

ワイズデー等、色々な事業を滞りなく開催させて頂く事が出来たのも、皆様のご協力があったからこそと思い、心から御礼申し上げます。

下半期にもまだまだ事業が残っておりますので、少しでもスムーズに進められるよう努めさせて頂く所存です。

皆様におかれましては日々お忙しくされている事と思いますが、引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。



## 書記 吉田 真理 京都トゥービーワイズメンズクラブ

「All Hands on Deck」 竹園部長の主題に基づき京都部書記として半期活動してまいりました。

毎月の役員会、また評議会や部会、ワイズデーなど、部長が部会でもおっしゃっておられた限られた時間で多くの仕事をこなさなければならないような状況の時、役員全員で協力し合い各事業や活動に積極的に取り組めたのではないかと思います。

下半期にはいくつかのクラブが周年例会の予定を組まれております。来んでこられたそのクラブを知る良い機会だと思いますので周年例会には積極的に参加させていただきたいと考えております。

残り半期も宜しくお願い致します。



## 会計 西村 和真 京都洛中ワイズメンズクラブ

半期が過ぎ、皆さまのご協力のおかげで会計としての業務が円滑に進めることが出来ていることに感謝申し上げます。

今期の大きな意味を持つ「ワイズデー」も成功に終わり、ワイズメンズクラブをアピール出来たことに我々役員も達成感を感じております。各クラブの皆様にご理解とご協力いただきましたことをこの場をおかりして御礼申し上げます。

下半期も変わらぬご協力をよろしくお願いたします。



## 事務局長 高倉 英理 京都ZEROワイズメンズクラブ

上半期が終わり、京都部部会、ワイズデーを無事やり遂げられたことにホッとすると共に、竹園部長の掲げる主題「All Hands on Deck!」クラブの垣根を越えた交流を持つての活動が実現出来たのではと感無量です。京都部事務局長として至らぬ点多々あったかと思いますが、みなさまにご協力頂き実現出来たことに深く感謝申し上げます。

下半期、竹園部長はEMCに力を注ぎ、塚本EMC事業主查の掲げる京都部600名を目標に活動していきます。ここにもまたクラブの垣根を越えた交流を持つての活動があれば実現は不可能ではないと信じます。どうか下半期も、「All Hands on Deck!」の心持ちで、ご協力よろしくお願致します。



# 事業主査

## 主題「TRY IT NOW」

YMCAサービス・ユース事業主査 合田 太一 京都ワイズメンズクラブ

今期がスタートして早いもので半年がたちました。Yサの活動は、リトセン、サバエのワークから始まりました。いつものクラブメンバーとしてのワークの参加と、主査としてのワークに参加させて頂き、他クラブさんの活躍を目にすることが出来、大変いい経験をさせて頂きました。9月には京都部部会に京都部役員として参加させて頂きました。ZEROクラブさんがホストの素晴らしい部会でした。部長公式訪問の随員として、東稜クラブ、ZEROクラブ、プリンスクラブ、トゥービークラブさんの例会にお邪魔させて頂きました。1月にセンチュリークラブさんに訪問して終了です。

クラブ独自の活動として、東稜クラブさんのリトセン皿洗いワークにも参加させて頂きました。秋と春のフェスティバル後に、リトセンの食器を一度すべて綺麗に洗い直す作業です。こんな活動が、陰でみんなの笑顔を支えているんだな、と感じ東稜クラブさんの志の高さを知ることが出来ました。各クラブさんの独自の事業にもどんどん参加していければと思っております。ご紹介よろしくお願いたします。上半期色々な活動をさせて頂きましたが、これからの下半期まだまだやる事は目白押しです。YYYフォーラム、リトセンチャリティーゴルフにもご協力をお願いいたします。

残り半年どうぞよろしくお願いたします。



## 主題「GO FORWARD!」～前に進もう！私たちの子どものために～

地域奉仕・環境事業主査 千賀 修 京都パレスワイズメンズクラブ

京都部所属各クラブの皆様、日頃より地域奉仕・環境事業に対し温かいご支援・ご協力を賜り誠に有難うございます。

ようやく私もCS主査として折り返し地点に差し掛かりました。前期での大きな事業と言えば、やはり西京極競技場でのワイズデーです。PR委員会と共にワイズメンの認知度向上や地域奉仕活動の一環として、各クラブが支援する施設の子どもたちが参加してくれたこと、そして熊本の子どもたちや京都部の多くのワイズメンの方々と一緒に場内をパレードしたことは心に残っています。しかしながら私自身の力不足により、各クラブのCS事業に対してきめ細やかな動きが出来ていないことは猛省すべきところであります。下半期は各クラブのCS事業に少しでも参加できるようにしたいと思いますので、どうかよろしくお願申し上げます。また、2月にはCSチャリティーボウリングも開催されます。クラブ内で是非ともお話し合わせの上、ご参加賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 主題「メンバーのメリット！入会者のメリット！」

EMC事業主査 塚本 勝己 京都ウエストワイズメンズクラブ

半期を振り返って！

京都部EMC主査を半期務めさせて頂き、感じた事は「もう少し出来たのではないかな？」

と言う事です。まだ半分ほどの例会しか参加しておらず、すべての入会式にも参加できませんでした。もう少しEMC主査としてアピールができれば、あと1つ2つの例会に参加できたのではないかな？と思います。

もちろん、良い所も今まで自クラブだけしか参加していませんでしたが、色々なクラブを経験させて頂いた事は、私にとってすごくプラスになりました。

また、部長を筆頭に京都部のみんなが楽しく、新たな「居場所」が出来た様に思います。

現在今期に入会された方14名、残念ながら退会された方6名、1月以降にはもう一度EMC懇親会を開催し、京都部で楽しめる事、メンバーのメリット！入会者のメリット！を考えて行きたいと思っております。

残り半期、まだまだ時間はある！

600名に向かって頑張っていきたいと思っております。



# 事業主査

## 主題「自クラブもワイズメン 他クラブもワイズメン」

国際・交流事業主査 高坂 訓 京都トップスワイズメンズクラブ

皆様いかがお過ごしでしょうか？私は少しホッとした反面モヤッとした心境です。

国際・交流主査として部長公式訪問随行を終え半期が過ぎようとしておりますがまだまだ不完全燃焼といった感じです。

公式訪問では自分なりの交流のあり方を皆様に実体験を元にエピソードとして伝えてまいりましたが、本当にきちんと伝えられたのか？一人でも私の言葉や行動で勇気づけられ新たな一歩を踏み出すキッカケを作ることができたのか？白問白答の日々を送っています。

私は今期、国際・交流主査として副題に「交流から人と人をつなぐキッカケ作り」を掲げています、クラブ単位、個人単位と規模は様々ですが私を通じ一人でも多くの方が私のキッカケをもとに新たな発展や喜びが生まれればと願っております。

そして今期はまだまだ交流のチャンスがたくさん残ってます！そうです今年を迎えるクラブさんがたくさんあります！皆さんで祝福し交流しませんか？そこには必ず新しい出会いと発見があるはずですよ。

残りの活動期間まだまだ頑張りますので皆様どうぞご協力の程よろしくお願い致します



## 主題「これからのメネットとは？」

メネット事業主査 宮越 寛 京都ZEROワイズメンズクラブ

今期の京都部メネットアワーは、第22回京都部部会と同日の2017/9/10(日)にウエスティン都ホテル京都にて開催させていただきました。中道京子主任の事業方針への理解を深めていただきたく、主任ご本人よりご参加者の皆様へ直接に訴えていただき、それに関連する取組みについてのお話をWACCA代表の茂木美知子様よりいただきました。私自身にとっても大変有意義な時間でありましたが、ご参加いただいた皆様にとっても有意義だった事と感じております。ご参加いただいた60余名の皆様には席上献金へのご協力も併せてこの紙面をお借りしあらためてお礼申し上げます。

半期が過ぎた今の所感としましては、一言で表現するとメネット事業の難しさを感じております。ひとつはYサ事業のように事業内容がある程度固定していないのでメンバーやメネット(パートナー)の理解を深めにくい。つまり、何度か繰返し関わることによってどんな内容や趣旨への理解が深まり支援や協力の輪も広がるというようなサイクルが出来難いところです。もうひとつは各クラブ内でのメネットへの情報伝達方法に差異があるため、呼掛けた情報の伝わり方に差異ができて充分に伝わらない場合があります。メネット組織がある程度できているクラブではクラブ会長よりメネット会長や連絡員へ伝えれば情報が伝わりますが、そうでないクラブではメンバーを通じての伝達ということになり伝わっていない場合もあるようです。

そんなところで思うのは、情報伝達ももちろん大事ですが、何よりもメネット(パートナー)同士が顔見知りとなるのが大事かと思えます。顔見知りになれば楽しい場はもちろんですが、メネット事業やクラブ事業・ワーク等の場にも参加しやすくなりますし参加すればその内容や趣旨への理解も深まります。どうか各クラブにおかれましては、クリスマス例会やファミリー例会等もそうですが、それ以外にもメネット(パートナー)同士が出会う場を設けていただきたく思います。

また、京都部全体でのメネット(パートナー)の出会いの場としては、下半期では各クラブの周年記念例会がたくさんあります。各クラブが長い時間を懸けて準備された楽しく集える絶好の機会だと思いますのでメンバーの皆様は是非とも自クラブ単位での事へのお声掛けと併せて京都部全体での事にもメネット(パートナー)に、お声掛けいただきお誘いいただければと思います。

それ以外にも楽しく・積極的に集うことができるように、そのきっかけの出会いの場として、また今期方針の『これからのメネットとは？』についてのご意見を募る場としての機会を持てればと竹岡京都部長共々、現在模索中です。

残り半期もよろしくお祈りします！メネット事業支援金の方もご協力よろしくお祈りします！！



2017/09/10 京都部メネットアワーより

# 事業主査

主題「EVERY LITTLE HELPS」

PR委員長 金原 弘明 京都キャピタルワイズメンズクラブ

上半期に、今期京都部PR委員会委員長としての最大のコミットであったワイズデーを無事終えることができました。本当にたくさんの皆様にご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この事業は、ワイズメンズクラブのPR活動という意味だけでなく、サッカー観戦という楽しみを得ながら、熊本震災復興支援、各クラブの支援先への地域奉仕活動、九州部と京都部・ワイズとYMCAの繋がりが結びつきの強化といった様々な側面を持つイベントとして、本当に大きな意味があったのではないかと考えています。

ワイズデーの後、本当にたくさんの皆様から「面白かった」「またやりたい」等のお声がけをいただきました。今回の事業の醍醐味はクラブの垣根を超え、京都部、そして九州部やYMCAまで巻き込み、本当に多くのワイズメンが一致団結してやり遂げたからこそ生まれた面白さ、達成感だと思います。次期以降も事業の形は変わっても、一人でも多くの方にワイズメンズクラブを知ってもらうための、ワイズメンが一致団結して達成感を得られる事業を継続していければと思っています。

下半期は次期にそういった事業を行いやすくするための土壌作りを引き続きPR委員会にて行っていきたいと考えております。

最後になりましたが、京都サンガ担当者、京都YMCA、京都YMCA活動委員会及び熊本YMCAの関係者の皆様、サッカーチームの子どもたち、小田九州部部長を始めとする九州部の皆様、京都部全クラブの会長を始めとする関係者の皆様、挙げだしたら切りがありませんが、ワイズデーにご協力頂きました全ての皆様へ、心より感謝を申し上げます。



## 京都部ワイズデー 2017年10月14日(土)



# 各クラブ会長

会長主題 希望をもって with hope

京都ワイズメンズクラブ 中村 泰之

今期も半分が経過し、折り返し地点を過ぎました。YサCS事業、交流事業等、様々な事業を進めるにあたって、京都クラブのメンバーや京都部の皆さんに支えられ、無事に上半期を終えることができました。あっという間の半年でした。また、ワイズメンズクラブを「楽しもう」との思いで、積極的に交流の機会に参加し、多くの新しい出会いや交流が広がりました。

いよいよ下半期となりますが、1月には、新しいメンバーが入会されます。この勢いで、次々と新メンバーが増えるように取組みたいと考えています。



今期は、70周年記念事業として、OBの方々と同窓会例会を実施し、これまでの資料整理も行い、今後は、リトリートセンターの改修工事や、YMCA専門学校との交流支援等の事業に取り組みます。

今期の会長主題「希望を持って」や、方針を今一度確認し、新たな気持ちで後半をスタートさせたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。



会長主題 Let's try again! もう1度やってみよう!

福知山ワイズメンズクラブ 堀 一博

活動休止中



会長主題 継続性をもって、未来への橋を架けよう  
Bridge to the future and continuity.

京都バレスワイズメンズクラブ 笹山 直世

上半期を終え一月から下半期へと入ります。とにかくミスの多い私は、クラブメンバーに謝罪しまくりの前半でしたが、三役さんや各事業委員長さんに助けて頂きながら、ギリギリ折り返し地点に到着する事が出来ました。特に年末は仕事が忙しい為、クラブ活動最優先という訳にはいかなかったため、後半は本腰を入れていこうと考えております。

バレスクラブでは、下半期も色々なイベントで既存メンバーへのクラブ満足度を上げる準備を致しておりますが、実際の所「楽しんでもらえるかなあ…」と、少々不安もあります。そんな時も頼りになるのが三役さんや、各事業委員長さん達です。ワイズに入って、これ程助けてもらっているを実感した事はありませんが、せっかくの会長期ですので、後半も負んぶに抱っこで甘えさせて頂き、次期からは誰かを支えられるよう成長出来ればと思います。後の半分もがんばりますので、宜しくお願い致します。



# 各クラブ会長

会長主題 Ready to fly

一歩前進と調和 皆さんと共に

京都ウエストワイズメンズクラブ 安田 繁治

京都ウエストワイズメンズの38期も早半期が過ぎようとしています。本クラブとしましては、一つの目玉でありました11月のEMC例会が140人参加の例会となり、その反響で、来年には2名の入会希望者があり、順調に成果を上げています。

前会長の主題でありますLove of humanity(人類愛)、奉仕活動と交流をきっかけ、実践されてきました。それを引き継ぎ今期は各自がメンバー愛をもって、ステップアップ(会長主題、Redy to fly 一歩前進と調和、皆さんと共に)して頂きたく、積極的に他クラブの参加を促し、交流の場を広げて、ウエストパワーをもっとたくさんの皆様に見て頂きたいと思ひます。

残りの半期を前半の至らなかった点を見直し、EMC事業に力を注ぎ、IBC,DBCの交流、締結も視野にいれ、皆さんと共に楽しい、有意義な半期にし、会長職をやり遂げたいと思ひます。



会長主題 『I can fly.』 ～アクセル踏んで GOGO～

京都めいぶるワイズメンズクラブ 北山 正隆

時間が経つのがほんとに早いと感じています。7月の総会から始まり10月のワイズデー、そして12月のクリスマス例会と、あっという間の半年でした…その中でも特に印象深いイベントは、やはりワイズデーではないでしょうか！

めいぶるクラブが長年支援をしている、社会福祉法人 積慶園(児童養護施設)の子供たちを招待しました。子供たちが目の前の試合を見て影響を受けていることを後に知ることになります。



12月のクリスマス例会で、積慶園の職員様がゲストに来ていただきました。そこでワイズデーの後、子供たちが園の中でサッカーの真似事をしたり、タオルマフラーを頭に巻きゴールキーパーをして遊んでいる様子を覚えて頂きました。園の中ではボールを蹴ることは禁止されているのですが、それらしいものを使ってサッカーごっこを楽しんでいるのが目に映ります。子供たちに喜んでもらったことを本当に嬉しく感じました。

下半期は支援している施設やクラブメンバーと深い繋がりを持つようにしたい！そしてこの輪がもっと広がってメンバーが増える事を抱負にしたいです。



# 各クラブ会長

会長主題 絆の力で越えていこう！！  
～ひとりより二人、二人より全員で！～

京都キャピタルワイズメンズクラブ 田中 升啓

上半期が終わりましたが、振り返ってみるとあっと言う間の半年でした。今まで一人のメンバーとしてクラブについて深く考えていなかったようなことも、会長という立場になると感じ方が変わり、今まで以上にいろいろ考えるようになりました。上半期で思い出深いのは、やはり京都部全体で行ったワイズデーでのハーフタイムバレーです。多くの方々へのアピールにもなったと思いますし、何より多くのワイズメンや支援先の方々といっしょに進んできて楽しかったです！12月には一泊二日の弾丸行程で台湾に行き、台北アルファクラブ、そして東京クラブの



皆さんとトライアングルIBC国際CSプログラムにも参加できました。とても密度の濃い半年だったと感じています。下半期も東京クラブとのDBC交流や、支援先の方々を招いてのメタセコイヤフェスティバル等、事業もたくさん控えております。メンバーといっしょに、残り半年も思いっきりこのキャピタルクラブの会長を楽しみたいと思っています！



会長主題 「わたしたち」意識を大切に  
- To be aware "we-feeling" and no one will be left behind.

京都プリンスワイズメンズクラブ 宇高 史昭

会長の役割って何だろう？まだまだ戸惑いも多いですが、クラブメンバー、京都部役員、他クラブの皆様のご指導を賜り、ワイズデーなど半期を順調に終えることができました。あらためて皆様に御礼申し上げます。

この半期、台風が印象に残っています。9月CS事業として企画したファミリーキャンプは台風接近で中止、10月台風21号でサバエキャンプ場のメインホールやキャビンが被害を受け、大型台風を目の当たりにしました。10月三クラブ合同例会にお招きしたゲストスピーカー気象予報士の吉村真希さんから、地球温暖化の影響で大型化、大雨を



降らせる台風の増加、自然災害への備えを教えてくださいましたが、台風の威力を体感する半期でした。

9月の京都部部会では居住地単位で図上災害訓練を通じて、知らなかったワイズメンと言葉を交わす機会を持ち、つながりの輪を実感できました。

そして12月にはわがクラブに30才の新メンバー古市千修さんを迎えました。後期はさらに交流の機会をつくり、新メンバーも早くクラブの事業の戦力に加わってもらえるような例会や活動に取組みたいと思います。



# 各クラブ会長

会長主題 一途一心

～ひたすらひたむきに～

京都センチュリーワイズメンズクラブ 駒谷 憲美

2回目の会長させて頂いてますが、あっという間に過ぎ、下半期に突入していきます。

上半期は、例年通りの奉仕活動を行う事ができました。、少人数のクラブの為、各自負担もあったかと思いますが、責任感をもって活動していただいたことに、感謝いたします。

又初めての取り組みとして、5クラブ合同EMC例会を11月に開催することができました。

東稜、みやび、エイブル、ウエルの会長はじめメンバーの方々に大変お世話になり、本当に有難うございました。



メンバー増強を目指し7名のゲストを招待することができました。

今期に2名のメンバー増強めざし引き続き、魅力ある例会、活動を開催していきたいと考えています。

下半期は、1月笑福例会（落語）、2月メネット例会に続き、30周年の記念例会にかえて被災地視察旅行を実施したいと考えています。事業が続きますが、来期につなげられるよう1人でも多くの会員増強に向けて頑張りたいと思いますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。



会長主題 協力=強力

～メンバー全員が協力し合い一つになれば、それはとても強い力になり得る～

京都ウイングワイズメンズクラブ 北川 雅俊

早いもので、半期が過ぎようとしています。半期を振り返りますと、ウイング主力事業である「青い空と白い雲のキャンパスラッドキャンプ」をはじめ沢山の事業、そして今まさに進行形の「30周年記念例会」はウイングメンバーの大きな協力により着々と進められ、「会長主題の協力=強力が着実に結果をあげているんだ」と実感しております。

会長に就任した当初から、30周年と言う大きな節目の期である事、それに加えて新しいIBC締結の事、サバエキャンプ場の問題等、大変な課題が山積みで、会長として何をしたら良いのか、わからないことばかりでメンバーには沢山の迷惑



をおかけしている中、ウイングメンバーの協力のもと、皆さんの温かいお心遣いや励ましのお言葉がとても強い力になり、人と協力し合い、助け合う大切さを痛感した半期でもありました。

誠にありがとうございます。ウイングの総力をもってすれば不可能を可能にすることもできると確信しております。

後期もメンバー全員で協力して、この後あるすべての事業が成功できますよう、頑張りたいと思います。



# 各クラブ会長

会長主題 二回目のチャーターナイトを目指して  
～例会の充実～

京都洛中ワイズメンズクラブ 大野 信幸

「30周年の節目」  
今期、洛中ワイズメンズクラブは30周年を迎えます。その大切な節目に、飛躍の起点に会長をお受けさせて頂きました。  
京都部報1号にも述べさせて頂きましたが、30年前チャーター後のメンバーは50余名を抱えて、平均年齢も40代、一杯のボランティア精神に燃えて、様々な活動を若さとともに、青春して参りました。現在まで継続している事業は、嵐山クリーン作戦。毎年、5月の連休後に清掃活動して、トラック3台分程のゴミを回収します。



児童養護施設の「つばさ園」のサポートも、バザー、スキー旅行、遊園地招待、サバエのキャンプ招待、花火大会など、長いお付き合いを継続しています。車椅子駅伝も1回目からお手伝いして参りました京都のダウン症の子供達を、植物園にご招待、お絵描き大会を開催したり、体育館を借りて、運動会、ダンス大会など、活動してきました。然し、メンバー減少とともに活動内容を絞り、現在に至っております。30年経って、平均年齢60代後半になり、危機感を覚え、30代の若いメンバーを徐々に増やす事に活動の重点目標を置き、私の所信表明「2度目のチャーターを」の意味は若いメンバーを集めて、新しいクラブを作るぐらいのエネルギーが欲しいとの思いです。  
例会に行きたい、楽しい、充実感がある、そんなクラブライフを目指しています。後期は、最後の詰めの時間です。2月3日の30周年記念事業で盛り上がり、理想の30名を達成しましょう。



会長主題 「手をつなぎ、奉仕の輪を広げる」  
～集（つどう）～

京都エイブルワイズメンズクラブ 山根 拓也

今期のエイブルクラブの活動として、新会員2名の若いメンバーの入会があり、これからの奉仕活動に弾みがついたと思ってお喜びしております。  
障害者施設のこもれび様のチャリティーバザーや納涼夏祭りのお手伝い、宇治福祉祭りでの餅つき、リトセン夜桜フェスタ、等、例年と変わらずに参加、お手伝いが出来ました。  
5クラブ合同EMC例会など新しい試みもあり、EMC効果が楽しみです。  
京都部主催のワイズデーにてのアビールバレードなど大変楽しい半期でした。  
下半期には、少年少女サッカー大会と京都部チャリティーボウリング大会がありますので、京都部ワイズの皆さんのご支援と多数のご参加を頂いて成功させたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。  
最後に、これまでの、京都部役員に心より感謝申し上げますと共に下半期も宜しくお願い致します。



# 各クラブ会長

会長主題 Love&Give

～皆が主役！誇りを持って溢れる愛で奉仕をしよう！～

京都グローバルワイズメンズクラブ 山本 啓介

今期会長を任命されて早くも半期が過ぎました、委員長や三役を経験しておりますが、会長はまったく違うことを痛感しております。正直な感想はこの半年がジェットコースターのように駆け抜けており、会長と誇れるような職務を全う出来てない感触です。本当に三役さんをはじめ各事業委員長やメンバーのお力でなんとかこなせたという感じで、感謝しております。

今期もリトセン夏季ワークから始まり、家族例会には鈴鹿サーキットへ行き、8月にはIBC先である台中エバーフ



ロークラブへのコメントホームステイで交流も行いました。ビジョン委員会主催の北フロンティアクラブとの交流会も1泊2日で実現しました。ワイズデーにもっと多くのメンバーに参加してもらいたかったのが心残りです。

また今期は25周年記念行事でネパールに学校を寄贈のためネパールに2度訪れることとなりまして、人生に於いて貴重な経験をすることができグローバルに人会して良かったと改めて感慨深くなりました。残り半期精一杯頑張って参る所存でございます。

京都部長はじめ京都部役員のみなさま、各会長さま、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



会長主題 みやび創成

～新しいクラブを作る意気込みで～

京都市みやびワイズメンズクラブ 前 登

早いもので会長になってあっという間の半年のような気がします。

私も3回目の会長職ですので気負いはありませんが、メンバーの皆を率先して引っ張っていかなくてはならぬ職務としては、やはり自分の時間をより多めにかけなくてはなりません。年のせいもありメンバーの高齢化もありますので、なるべく効率的な運営を志しております。

長いクラブ歴史では、メンバーそれぞれの思いや熱意も変わってきますので、うまく舵を取らなくてはという思いで上半期の例会は、ほとんどを部行事や合同例会の企画にあてました。クラブ独自のホテルでの企画例会はキックオフ例会のみで、12月のクリスマス家族例会で上半期はしめくりとなりました。

ただし今期は新年例会を25周年の周年式典にあてさせていただくことで、12月は大忙しの月となってしまいました。今正月を迎え準備の大詰めを終えちょっとほっとしているところでしょうか。

「ワイズはその職務が人を運ぶ」とはよく言われますが、厳しい世情の中でワイズメンは皆忙しく、時間のやりくりで苦労しておられることでしょう。もちろん例外ではありませんが、その段取りをする。又その中で心配りをする。これが本人を成長させるのではないかといつも自分に問いかけております。

みやびクラブはこの上半期も例年の行事をつつがなく淡々とこなしました。継続は力なりです。弱小クラブではありますので、下半期もできることを無理せず着実に継続して、バトンタッチをして行きたいものであります。

今年の部の役員の皆様、各クラブの会長の皆様にはお世話になりましたが、残り半年今後ともなにごぶよろしくお願いたします。



# 各クラブ会長

会長主題 Heat to Heart 心と心で繋げるトップスの輪！

京都トップスワイズメンズクラブ 山下 大輔

今期の主題としてHeart to Heart 心と心で繋ぐトップスの輪で今期スタートさせて頂き半期が終わりバタバタと過ぎさせて頂いております。

各事業への出席やクラブライフへのかかわりを強くしたいと思いついて来てます半期ではまだまだ、僕が思っておりますが、-間の関りが薄く感じられておりますので、後期はもっともつと-間の絆を深めて行きたいと思っております。

ここで、なにを皆に伝えて行くか同じ価値観でワイズライフを楽しめるかを考えている次第であります。



メンバー増強も行いたいのですがクラブライフを楽しめているクラブに入会して貰うのが一番だと思いますので後期はクラブ内の充実とメンバー増強や他クラブさんとの交流を楽しんで行きたいと思っております！



会長主題 「LOVE AGAIN」

～愛のある言動で人はつながる～

京都トゥービーワイズメンズクラブ 青木 禎一郎

こんにちは、京都トゥービークラブの青木です。今回は「半期を振り返って」ということなので反省も含めて書きたいと思っております。7月の定時総会からはじまった20周年期（厳密には22期）ですが「今年はとにかくお付き合いを大切にしたい」という思いで始まりました。会長という役目は当然クラブ内の運営・指揮が仕事なのですが、やっぱりワイズという多くの人と会える環境にいますので1人でも多くの人と会って自分の財産を増やすことも大切だなと考え、多くの例会や事業にも参加させて頂きました。大変魅力的な方もいらっしゃるなかで大きく成長？できたような気がします。また、20周年という大きな節目でもあり記念例会には200名を超える皆様と交流でき、楽しい夜を過ごせましたし、DBCでは沖縄クラブとの締結もあり沖縄にも何度か訪問できたことはよかったのかなと思っております。

今年の日玉事業の一つにDBC・IBCのダブル締結を掲げており台湾に行って現地の雰囲気や現地のメンバーと交流できたのではと目標に向けて頑張りたいと思っております。うちのクラブは大きなクラブではないので今後EMCを通じて多くの人に入会していただけたらと考えていますが、EMCの難しさを改めて知った半期でもありました。

まだ後半期がありますので失速することなく全力でクラブを、京都部を、西日本区を盛り上げていきたいと思っております。これは私の思い一つで完遂できることではないので皆様と一緒にやっていきたいです。最後に「ワイズやってよかった」と思えるよう、後悔の無い会長長期にしたいですね。



クラブの空気がわかりそうな写真をどうぞ！



# 各クラブ会長

会長主題 「やさしく 楽しく！」  
～仲間を増やそう～

京都東稜ワイズメンズクラブ 大槻 裕樹

「まい種が実を結ぶように」

7月祇園祭でのクリーン活動、8月四ノ宮まつりでのクリーン活動、11月DBC名古屋グランパスクラブとの交流会、リトセンの食器洗いなど当クラブ独自の事業を進め多くのゲストに参加いただきました。

また11月の5クラブ合同例会はEMC例会としてゲスト参加があり1月人会が1名決定しました。あと二人何としても入会につなげたいと思います。



合同例会では、多くのクラブからの応援もあり、塚本EMC主査のからの熱のこもったスピーチが効いたのだと思います。親子・兄弟クラブの枠を超えて新しい取り組みとして進めてきました。来年も続く予定なので、新しい交流が始まるのが楽しみです。下半期は各クラブの周年事業、CATT合同例会など交流事業が多く予定され、より交流を深めるチャンスととらえ、比較的新しいメンバーにも参加を促し、ワイズの楽しみを広げてゆきます。



会長主題 有言実行 ～常に前へ～

京都ウェルワイズメンズクラブ 谷 学

公私の事情でワイズの活動に支障を抱える状況の中で会長としての期が始まり、ドタバタしながらも気が付けば半年が経ち半期を終える事ができました。支えて頂いている同クラブメンバーの方々は無言、各事業等ご協力・ご参加して頂いた他クラブ・京都部の方々、誠に有り難うございました。

クラブのメイン活動のYサ事業ではサバエワークから始まり、ソラシドキャンプ、オータムフェスタ、クリスマスキャロリングの事業をトラブル無く無事に終える事ができ、ホテル例会では8月～11月で部長公式訪問を口火に、ZEROクラブ主催の豪華紳士会京都部会、そして恒例の3C合同例会（プリンス・グローバル）を幹事として開催させて頂き、西日本区・京都部からも多くのワイズの方々に参加して頂き、これまでにない華やかな例会となりました。



また今期よりスタートした5C合同例会（みやび・センチュリー・エイブル・東稜）はホテル例会で、新メンバー獲得に関し同じ様な悩みを持つ少人数の各クラブが協力し無事に開催でき、多くのゲスト・ビジターの御参加で豪華・楽しい例会となりました。また来期以降の継続も決まり、幸運にも恵まれ次回はホストを任せられる事になりました。

前期からスタートしたCS事業「動物愛護センター」の支援も着々と成形し始め、フェスティバルの参加等、そして事業に必要な資金獲得の為のチャリティーコンペの開催も、前回の第1回よりも参加者が倍に増え多くの資金獲得に繋がりました。下半期もYサのチャリティーボーリング・車いす駅伝・夜桜フェスタを軸にメンバー増員にも精力を注ぎたいと思います。



# 各クラブ会長

会長主題 「絆」～ みんなで繋がろう ～

京都ZEROワイズメンズクラブ 堂脇 武

今期は会長研修会から全ては始まりました！あの研修があったからこそ今こうして会長としてやれていると実感しています。あまり乗り気でなかった私をここまで導いてくれたクラブのメンバーをはじめ他クラブの会長さんたちには本当に感謝しております。まずは、ありがとうございます！

さて、上半期を振り返り、最も印象に残っていることと言えば、何と云っても京都部会です。私は、このことからたくさん事を学ばさせて頂きました。前期から企画・運営に至るまでメンバー一人ひとりの力を結集して無事成し遂げる事ができた事です。ZEROクラブは、どちらかと言えば個性的なメンバーも多く、正直このような大きな事業を一致団結して成し遂げる事は出来ないのではないかと考えていました。それぞれが真剣に向き合っているからこそ意見がぶつかり合う。とことん話し合う。

だからこそ、みんなの協力を得ることが出来、一つの事を成し遂げる事が出来る！

この事をこの事業からそしてメンバーから教えてもらいました。

私は一人では何も出来ません。会長としてこれまでどのくらい役目を果たしているかは分かりませんが、下半期は、もう一度仕切りなおして悔いなく今期を駆け抜けたと思います。まずは、部長輩出クラブとして恥ずかしくない活動を心がける！

今期立ち上げた「ビジョン会則検討委員会」を通じて、クラブの充実とメンバー増強の環境を整える、例会のあり方を考える、西日本区大会でのDBC締結を目指す、そしてメンバーをあと3名増やすためのEMCの充実、そして10周年アクト記念事業を見据えたファンド益100万円の達成です。メンバーは正直大変だと思えます。



それぞれ仕事や家庭の事が一番でクラブの事はその次、またその次かもしれない・・・当然だと思います。ただ、クラブの例会・事業は義務ではないと私は考えています。これは与えられた権利であり、自分を成長させる場であり参加することに意味も意義もあるのではないかと考えるようになりました。全ては自分がどう考え、行動するかでそこに価値を見出す事が出来るのではないのでしょうか？

これも他クラブの例会への参加や会長さんたちと話をする機会が増えた事も大きいと思います。主題である「絆」を意識しながら下半期を駆け抜けて行きたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いたします。



会長主題 「夢」「希望」未来へ舞う～Dream, Hope, Let's go to the Future!～  
～「今」というかけがえのない時間を共に進もう！～

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 塩見 昌行

北京都フロンティアワイズメンズクラブの発展と自己啓発を胸に会長に就任させて頂いて半年、自分自身のリーダーシップや行動力、統率力の無さを痛感している毎日です。

クラブメンバーの支えの元、今年の7月30日に「みなと舞鶴ちゃった祭納涼例会」を開催することが出来ました。京都部部長をはじめワイズメンバー等多くのゲストや舞鶴の支援学校の方等、総勢100名を超えるご参加を



頂きました。当クラブとして初めての大きなイベント開催でしたので、上手く進まない事や準備不足も多々ありましたが、メンバーの団結力で乗り切れたと思っております。来年以降もフロンティアクラブの恒例イベントとして行っていきたいと思っております。

第二期も折り返しを迎えています、まだまだ課題は山積みです。しかしチャーター時のフロンティアスピリットを忘れず、会員の絆を強めて、社会奉仕、YMCA協力等の使命を忘れず、メンバー全員で知恵を絞りそれぞれの個性を発揮し、共に考え活動し、成長しながら、活気溢れる北京都フロンティアクラブらしいクラブ創りが出来るようにしてまいります。



# 第21回

# 西日本区大会



すこやか、

しあわせ、

ワイズとともに

2018年6月9日(土)・10日(日)

- ◆ 前夜祭：8日北野ガーデン
- ◆ 大会会場：ANAクラウンプラザホテル神戸(新神戸駅前)
- ◆ ホストクラブ：神戸ポートクラブ・宝塚クラブ

神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ  
神戸学園都市クラブ・さんだクラブ・芦屋クラブ

基調講演「わたしとスペシャルオリンピックス活動」  
講師 有森裕子氏(スペシャルオリンピックス日本理事長)



ワイズメンズクラブ国際協会